

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会のボート・カヌー（スプリント）競技会場となる、海の森水上競技場を整備する。

工事概要

○工事場所

東京都江東区青海三丁目地先

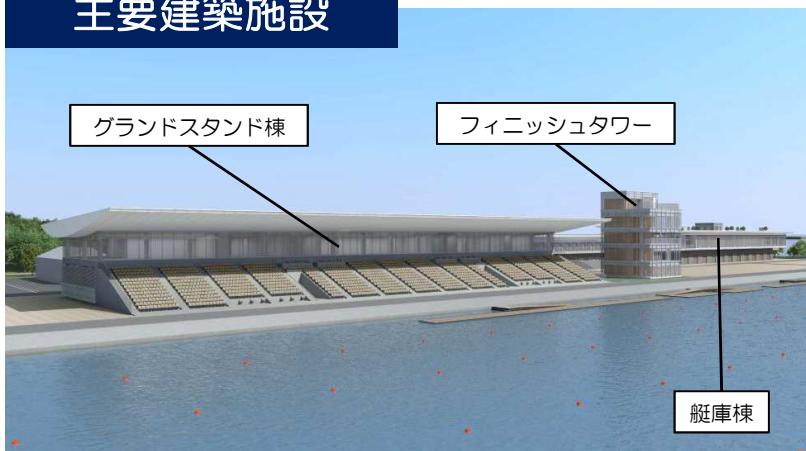
○主要工事内容(設計・施工一括発注)

- 港湾構造物 一式
- 水門施設 一式
- 揚排水施設 一式
- 建築施設 一式

○受注者：大成・東洋・水ing・日立造船

異業種特定建設共同企業体

主要建築施設



施設配置



位置図



※ パースは大会時イメージであり、今後設計が進んでいく中で変更になる場合がある

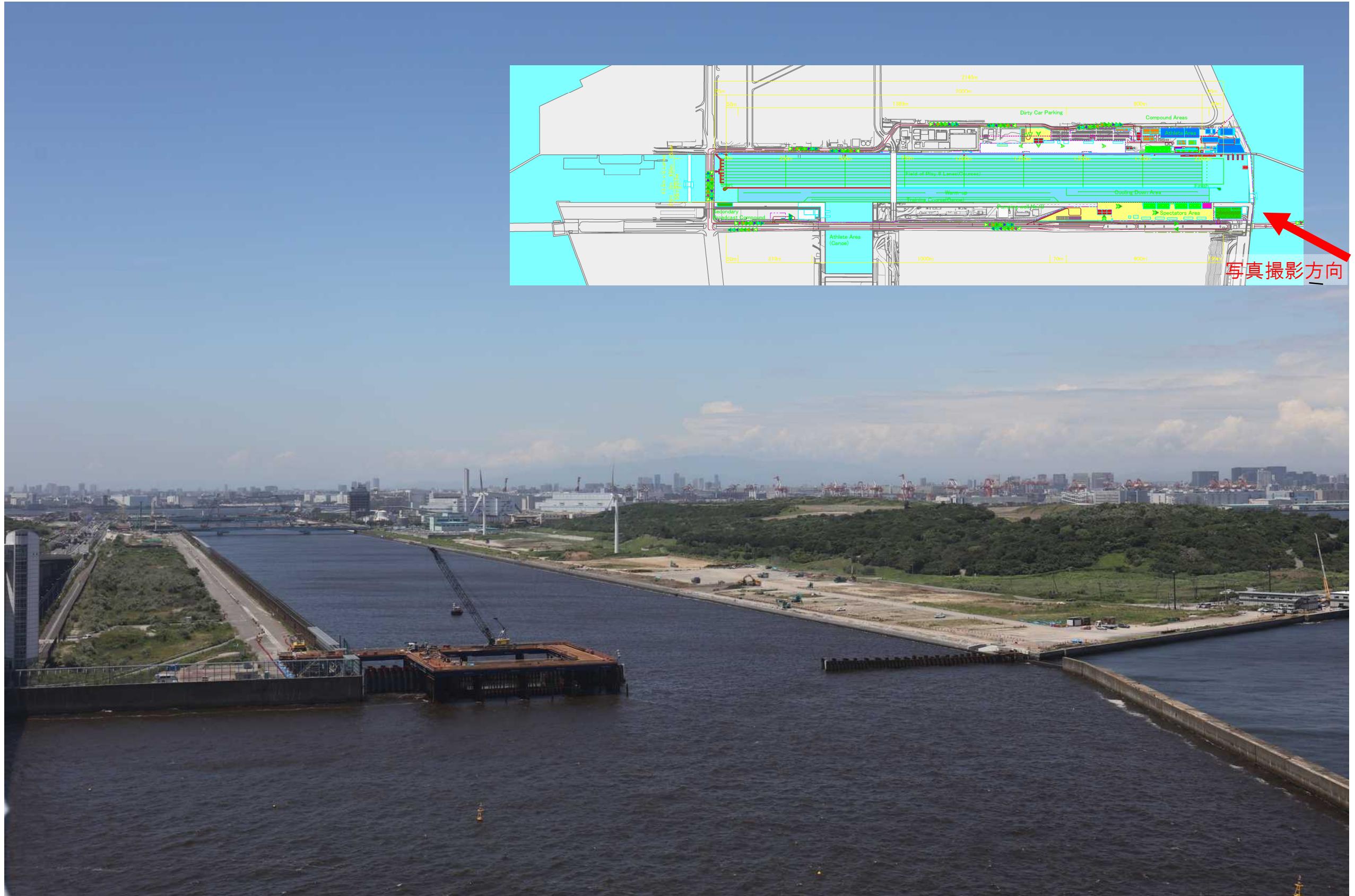
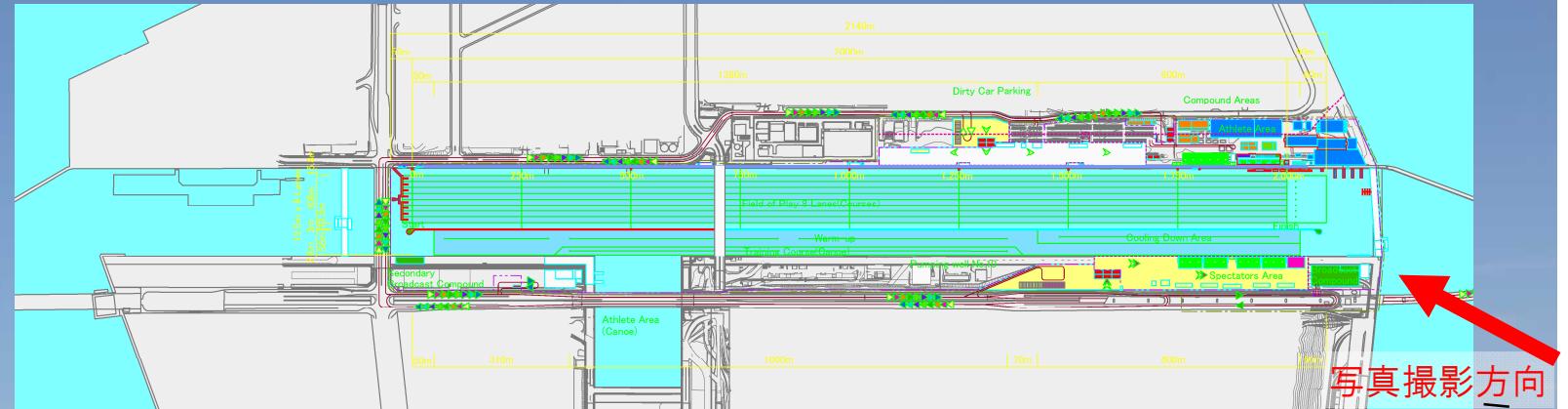
整備工程

	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
海の森水上競技場 整備工事 〈港湾局施工〉	基本設計 2016.3/4	実施設計・工事			テストイベント	本大会

海の森水上競技場整備工事の現況写真

平成29年7月25日
東京都オリンピック・パラリンピック準備局

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会のボート・カヌー（スプリント）競技会場となる、海の森水上競技場を整備する。



平成 29 年 3 月 8 日
東京都港湾局
東京海上保安部

東京港における工事用船舶の新たな航行安全対策の運用開始！！ ～全国初、複数の大規模海上工事の工事用船舶を一般船舶と一体で運航支援～

東京港では 2020 年（平成 32 年）までの完成を目指し、東西水路周辺工事（海の森水上競技場、中防内 5 号線橋りょう等）、新客船ふ頭整備工事及び臨港道路南北線整備工事（海底トンネル）などの大規模な海上工事が同時期に輻輳して実施され、港内を多数の工事用船舶が航行するため、周辺海域では一般船舶との錯綜が見込まれます。

このため、港内における船舶航行の安全を確保しながら、輻輳する海上工事を円滑に進めるべく、工事用船舶の航行安全対策を強化するため、工事用船舶を一般船舶と一体で運航支援する、『全国初』の取組を開始することとしましたのでお知らせします。

記

1. 運用期間：平成 29 年 3 月 10 日（金）～平成 32 年 3 月（予定）

2. 工事用船舶の運航支援について **別紙**

○対象工事：東西水路周辺工事（海の森水上競技場、中防内 5 号線橋りょう等）

新客船ふ頭整備工事、臨港道路南北線整備工事（海底トンネル）の工事用船舶

○運航支援：とうきょうポータルラジオ^(※1)を活用

○支援方法：工事用船舶や運搬船に GPS 等と MCA 無線^(※2)を新規に搭載し、工事用船舶の位置情報等に基づき運航支援を行うシステム

※1 東京港内の岸壁利用の船舶を対象に、無線等により運航支援を行う業務

※2 任意のチャンネルを設定しアクセスすることが可能な無線

3. 工事用船舶の航行安全対策の強化策（3 本柱）

①ポータルラジオを活用し、工事用船舶を一般船舶と一体で運航支援

②工事用船舶や運搬船の運航ルール及び運航支援内容の周知徹底（航行安全教本の作成）

③工事用船舶や運搬船の船長等への安全講習会の実施（東京海上保安部と連携、受講証明カードを発行）

○問い合わせ先

（航行安全対策、運航支援及び海上工事に関すること）

東京都港湾局港湾整備部整備調整担当 水飼（TEL：03-5320-5621）

（安全講習会（講師）に関すること）

海上保安庁第三管区海上保安本部

東京海上保安部航行安全課 上野（TEL：03-5564-2022）

○東京港内の大規模海上工事

①東西水路周辺工事

- ・海の森水上競技場
- ・中防内5号線橋りょう 等

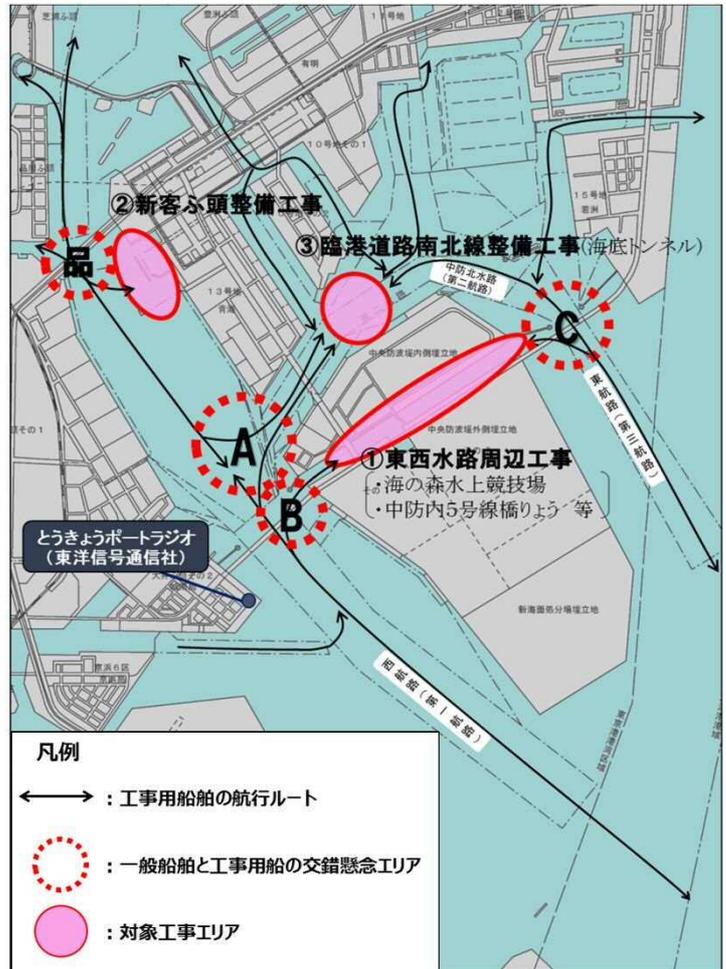
②新客船ふ頭整備工事

③臨港道路南北線整備工事(海底トンネル)

東京港では、2020年(平成32年)までの完成を目指し、上記①～③の大規模な海上工事が輻輳して同時期に実施されるため、港内を多数の工船用船舶が航行し、一般船舶との錯綜が見込まれます。

このため、新たな航行安全対策として、**ときょうポートラジオ**の運用スキームを工船用船舶にも拡大することで、工船用船舶を一般船舶と一体で運航支援する、『**全国初**』の航行安全管理体制を構築しました。

<工船用船舶の航行ルート(想定)>

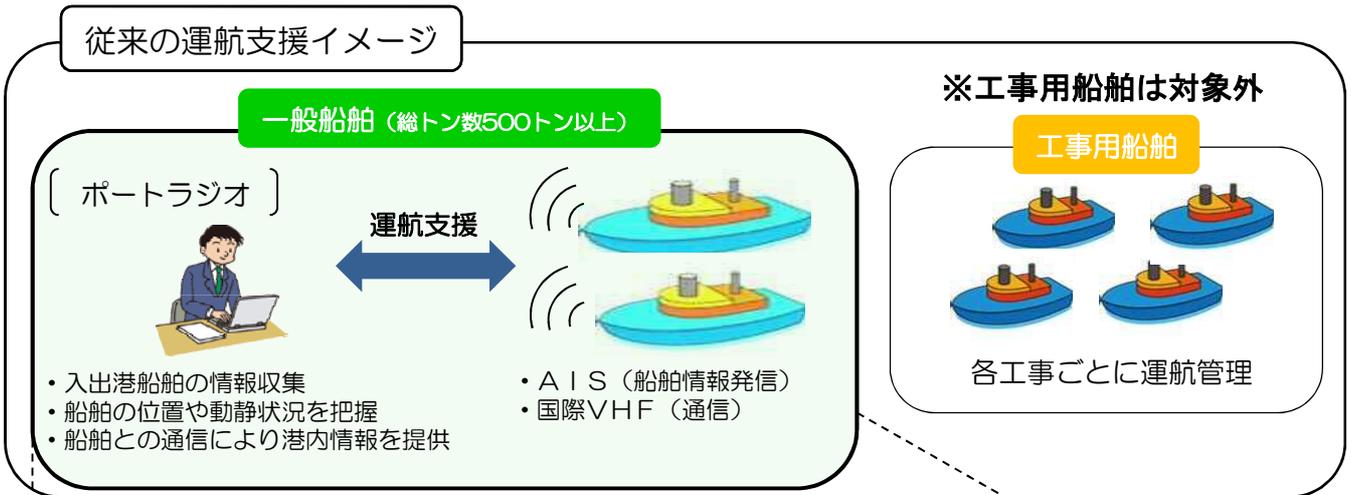


<海上工事スケジュール>

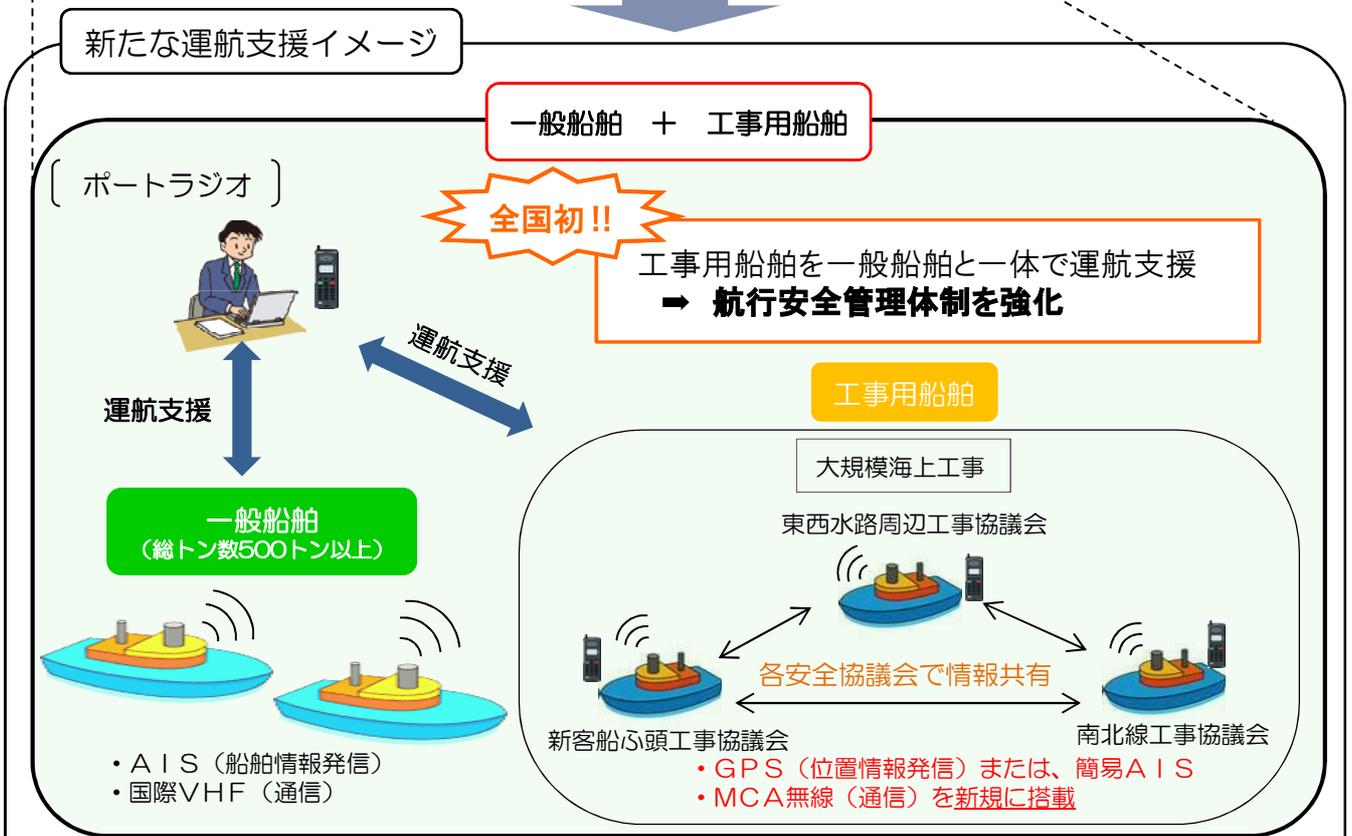
工 事 件 名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
①東西水路周辺工事 〔海の森水上競技場 ・中防内5号線橋りょう 等〕		■				東京2020大会
②新客船ふ頭整備工事		■				
③臨港道路南北線整備工事 (海底トンネル)		■				

〇とうきょうポートラジオによる船舶の運航支援イメージ

従来の運航支援イメージ



新たな運航支援イメージ



<工船用船舶への運航支援フロー>

	各安全協議会	連絡調整	ポートラジオ
事前	〇 工船用船舶の運航計画を事前に通知 (1ヶ月ごとの月間予定)	各安全協議会 メール	〇 1ヶ月ごとの工船用船舶の運航計画を把握
航行前日	〇 翌日入出港する工船用船舶の予定情報を提供 〇 調整済の運航予定表に合わせて予定を修正	各安全協議会 メール	〇 一般船舶を含めた運航予定表を作成 ※一般船舶と工船用船舶の入出港時間が重複する場合は工船用船舶の運航予定時間を調整 〇 各安全協議会に運航予定表を送付
航行当日	〇 入出港前に規定の位置や時刻でポートラジオに連絡 〇 ポートラジオからのアドバイスを参考に操船判断	船長 無線	〇 GPSシステム等により、 工船用船舶の位置情報を確認 〇 港内の船舶航行状態をふまえ、MCA無線により 工船用船舶の運航をアドバイス